

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年六月度 入選句（投稿総数千九百七十七句・小中生投句数千三百九十五句）

特選 選者 和田勝子

ホタルさんピカピカライトでたんけんだ 大垣市 糀矢 みう(小二)

人は光る物や浮遊するものに興味を持つと聞きますが、作者も青い光を引いて飛ぶ蛍のふしぎさに心をうばわれたのでしょうかね。真つ暗で周りがわからない状態で蛍の光を頼りに行くとまるで探検しているように感じたのでしょうか。その想いを詠んだ素直なすてきな句ですね。

かたつむり歩いた後が道しるべ 大垣市 大橋 一輝(小四)

雨あがりにあじさいの葉の上にいるかたつむりを見つけた作者。「どこからかな。」と思って、じつと見つめてみると、白く光るものを見つけたのでしよう。よく見ていると歩いた様子が目のあたりに見てこの句を詠んだのでしよう。とっても素直な写生句ですね。

みどりいろぐんぐんのびるわかばたち 大垣市 平野 布季(小二)

季節の変化を詠んだ句ですね。作者は、新芽からどんどん葉の色が、濃くなつていく木々のみずみずしく新しい葉に目がとまったのでしよう。その若葉が青空に向つて伸びている様子に感動して素直に表現されたのでしよう。すてきな句ですね。

秀逸

衣がえ変わる気持ちかせなかおす 大垣市 近藤 芹香(小六)

おやじギヤグさいきんうけず梅雨ぐもり 大垣市 丹羽 竜太(小六)

風がふく空のあなたでふうりんよ 大垣市 戸田 和樹(小五)

みずうみににじがおつきくうつつてる 大垣市 桐山 悠(小五)

たうえごはみみにとびいるかえるうた 大垣市 傍島 成耶(小二)

かたつむりのんびりおさんぼたのしそう 大垣市 糀矢 みう(小二)

かたつむりあじさいの上でパーティーだ 大垣市 水谷 光希(小三)

くらやみでダンスをおどるほたるたち 大垣市 大橋 佑香(小三)

田んぼにねやごのようちゅうおよいでる 大垣市 安田 有輝(小三)

あじさいがいろんなかさをひらいてる 大垣市 前田 るい(小四)

入選

歩いてく私その後ろ風かおる 大垣市 下村 樹奈(小六)

ホテル達見れば心もやすらいで 大垣市 吉田 帆香(小六)

つばめさん僕のお家にえさはこぶ 大垣市 小林 光紀(五才)

南風ゆっくりわたしを通りすぎ 大垣市 嵯峨山 日菜(小五)

さくらんぼまっかなかおしどうしたの 大垣市 川越 なつみ(小五)

夏祭り家族みんなでゆかたきて 大垣市 広木 三莉(小五)

夏の雲わたあめみたいふわふわだ 大垣市 川合 凌矢(小五)

草笛の香りが残る本を讀む 大垣市 加納 舞衣(小六)

雨だれの音ににぎわう橋一つ 大垣市 加納 舞衣(小六)

かえるたち鳴いて鳴いてこだまする 大垣市 水谷 光希(小三)

入選

カブト虫みつをさがしてあるいてる 大垣市 小川 密(小三)

カエルさんジャンプでうん動一二三 大垣市 川瀬 芙佳(小三)

すずしげに大がっしょうだすず虫が 大垣市 近藤 勇之介(小四)

かたつむり体のからが身を守る 大垣市 三輪 彩乃(小四)

わきみずがつめたく感じるさんぼみち 大垣市 西脇 楓華(小四)

風りんがすずしい音を風に乗せ 大垣市 古田 晏寿(小四)

さくらんぼ頭をくっつけおしあいだ 大垣市 高橋 歩花(小四)

風鈴のすずしさささそうハーモニー 大垣市 長屋 明莉(小六)

さくらんぼ日をあびすぎててれている 大垣市 安田 朱里(小六)

家の中まどから見える雲の峰 大垣市 碓井 咲貴(小六)

選者吟

幼な児の指先のぼるかたつむり

勝子